

平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日  
東

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所  
コード番号 3041 URL http://www.beauty-Kadan.com  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島 美佐夫  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口 絹子 (TEL) 096-370-0004  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績 (平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	1,372	22.7	△98	—	△89	—	△56	△407.6
25年6月期第1四半期	1,118	10.6	△3	—	△1	△15.7	△11	△9.7

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 △57百万円( △476.0%) 25年6月期第1四半期 △9百万円( △32.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	△13.22	—
25年6月期第1四半期	△2.66	—

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第1四半期	2,867	537	18.7
25年6月期	2,671	734	23.9

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 537百万円 25年6月期 637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、26年6月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の26年6月期(予想)の期末の1株当たり配当金は2,200円となり、年間の1株当たり配当金は2,200円となります。

3. 平成26年6月期の連結業績予想 (平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	16.7	300	72.6	300	70.6	163	90.5	36.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年6月期1Q	5,076,000株	25年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	855,700株	25年6月期	786,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年6月期1Q	4,271,963株	25年6月期1Q	4,176,600株

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期末自己株式数並びに期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政権交代後の追い風を受けた製造業を中心に景況感が改善し、徐々に景気回復の兆しが見えてきました。また、欧米の経済も先行きの不透明感を拭えないながらも緩やかに回復しております。

当社は、このような状況の中、中期経営計画の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。全社基本方針として新規顧客獲得と既存顧客内での当社への発注シェアアップによる売上拡大を推進してまいりました。その一方で、円安に伴う原価上昇により、主力の生花事業において利益率の低下を余儀なくされました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,372,249千円(前年同期比22.7%増)、営業損失は98,927千円(前年同期は3,286千円の損失)、経常損失は89,983千円(前年同期は1,997千円の損失)、当社元代表取締役及び元取締役に対する損害賠償請求における受取損害賠償金17,438千円の計上等より、四半期純損失は56,478千円(前年同期は11,126千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、747,301千円(前年同期比2.3%増)となりました。社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズも急激に変化しつつあり、葬儀の小型化や単価の下落傾向が続いております。これをカバーするため件数獲得のための施策を実施しております。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成25年7月から平成25年8月までの売上高は94,274百万円(前年同期比2.6%増)、取扱件数は66,721件(前年同期比3.8%増)と金額ベース及び件数ベースで増加傾向にあります(同調査は、平成25年4月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成25年3月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております)。当社では、前述の全社基本方針を徹底した一方で、台湾子会社の美麗花壇股份有限公司による事業再編の一時的な収益の悪化、円安の影響等による原価率の上昇、1件あたりの施工単価の下落傾向により営業損失は2,442千円(前年同期は76,888千円の営業利益)となりました。

#### (生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、269,323千円(前年同期比24.7%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(平成25年8月)によると、平成25年7月から平成25年8月までの切花累計の取扱金額は10,082百万円(前年同期比6.9%増)、数量では167百万本(前年同期比2.7%減)と金額ベースでは増加、数量ベースでは減少傾向にあります。当社では、前述の全社基本方針を徹底した結果、売上数量、売上金額ともに増加傾向にありましたが、円安の影響による原価率の上昇、輸入比率増に伴う運賃の増加等により営業利益は24,776千円(前年同期比27.1%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は106,195千円(前年同期比74.8%増)となりました。少子化と非婚化の影響を受け、婚姻件数は減少傾向にあるものの、オリジナル挙式志向の高まり、結婚年齢の上昇等による費用の増加を背景に大きな市場規模が保持されております。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成25年6月から平成25年8月までの結婚式場業の売上高は28,185百万円(前年同期比2.9%減)、取扱件数は9,722件(前年同期比3.3%減)となっております。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、平成25年1月に株式会社Standing Ovationよりブライダル装花事業を譲り受け事業拡大を図ったほか、前述の全社基本方針を徹底した結果、営業利益は16,003千円(前年同期は1,036千円の損失)となりました。

(土木・建設事業)

土木・建築事業の売上高は191,532千円(前年同期比186.4%増)となりました。土木・建設事業は熊本市内及びその近郊にて事業を行っております。熊本県内の近年の工事内容を見ると、災害対策として河川などの維持・修繕工事に加え、安倍政権の経済政策「アベノミクス」による公共投資の増加が寄与しております。今後もこの傾向は暫く堅調に推移するものと思われます。しかしながら、公共工事件数の大幅な増加に伴う資材や人件費の高騰により、営業損失は1,216千円(前年同期は10,363千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業及び不動産管理事業を行っております。売上高は57,896千円(前年同期比30.7%増)、営業損失は10,352千円(前年同期は9,721千円の損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の取得、処分、貸借及び管理を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ196,388千円増加し、2,867,528千円となりました。これは主に完成工事未収入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ394,091千円増加し、2,330,239千円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ197,703千円減少し、537,288千円となりました。これは主に、利益剰余金、少数株主持分の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の通期業績予想につきましては、平成25年8月9日発表の「平成25年6月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	773,847	752,116
受取手形及び売掛金	497,759	481,037
完成工事未収入金	2,639	128,368
商品	5,798	7,294
仕掛品	1,956	969
原材料及び貯蔵品	23,920	21,821
未成工事支出金	308	4,763
その他	101,862	139,886
貸倒引当金	△15,552	△14,687
流動資産合計	1,392,539	1,521,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	386,132	407,002
減価償却累計額	△148,680	△152,856
建物及び構築物(純額)	237,451	254,146
車両運搬具	170,650	187,888
減価償却累計額	△91,280	△100,643
車両運搬具(純額)	79,369	87,245
工具、器具及び備品	195,546	197,150
減価償却累計額	△145,818	△147,211
工具、器具及び備品(純額)	49,727	49,939
土地	242,627	244,516
その他	21,211	22,383
減価償却累計額	△11,096	△11,134
その他(純額)	10,114	11,248
有形固定資産合計	619,290	647,096
無形固定資産		
のれん	114,716	115,248
その他	9,996	19,249
無形固定資産合計	124,713	134,497
投資その他の資産		
投資不動産	182,571	194,552
減価償却累計額	△13,404	△14,035
投資不動産(純額)	169,166	180,517
差入保証金	170,836	162,760
その他	242,477	271,513
貸倒引当金	△47,884	△50,428
投資その他の資産合計	534,596	564,363

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定資産合計	1,278,600	1,345,957
資産合計	2,671,140	2,867,528
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,929	144,984
短期借入金	453,507	745,000
1年内返済予定の長期借入金	375,463	377,177
1年内償還予定の社債	25,000	25,000
未払金	66,398	74,978
未払法人税等	49,156	10,664
賞与引当金	6,911	19,967
その他	269,029	327,286
流動負債合計	1,359,395	1,725,058
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	488,516	527,508
退職給付引当金	27,696	29,314
その他	20,540	18,358
固定負債合計	576,753	605,181
負債合計	1,936,148	2,330,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	438,095	355,876
自己株式	△156,922	△178,643
株主資本合計	636,468	532,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	302
為替換算調整勘定	777	4,456
その他の包括利益累計額合計	1,188	4,759
少数株主持分	97,334	—
純資産合計	734,991	537,288
負債純資産合計	2,671,140	2,867,528



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,118,650	1,372,249
売上原価	903,008	1,248,080
売上総利益	215,642	124,169
販売費及び一般管理費	218,929	223,096
営業損失(△)	△3,286	△98,927
営業外収益		
受取利息及び配当金	247	278
受取賃貸料	2,975	4,471
保険返戻金	1,788	—
為替差益	—	1,205
その他	3,999	10,377
営業外収益合計	9,010	16,334
営業外費用		
支払利息	4,265	3,599
不動産賃貸費用	993	1,587
為替差損	1,523	—
その他	938	2,202
営業外費用合計	7,721	7,389
経常損失(△)	△1,997	△89,983
特別利益		
受取損害賠償金	—	17,438
その他	—	100
特別利益合計	—	17,538
特別損失		
固定資産除売却損	5,774	1,290
長期前払費用償却	—	7,857
その他	472	—
特別損失合計	6,246	9,147
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,244	△81,592
法人税、住民税及び事業税	△60	△4,357
法人税等調整額	△3,171	△12,585
法人税等合計	△3,232	△16,942
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,012	△64,650
少数株主利益又は少数株主損失(△)	6,114	△8,171
四半期純損失(△)	△11,126	△56,478

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,012	△64,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△128
為替換算調整勘定	△4,986	7,358
その他の包括利益合計	△4,956	7,229
四半期包括利益	△9,968	△57,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,590	△52,922
少数株主に係る四半期包括利益	3,621	△4,497

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	730,661	216,062	60,762	66,867	1,074,354	44,296	—	1,118,650
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	194,044	1,851	—	195,895	—	△195,895	—
計	730,661	410,107	62,613	66,867	1,270,250	44,296	△195,895	1,118,650
セグメント利益又は損失(△)	76,888	33,997	△1,036	△10,363	99,485	△9,721	△93,050	△3,286

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△93,050千円には、セグメント間取引消去1,250千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,300千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	747,301	269,323	106,195	191,532	1,314,353	57,896	—	1,372,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	227,770	1,216	—	228,986	250	△229,236	—
計	747,301	497,093	107,411	191,532	1,543,339	58,146	△229,236	1,372,249
セグメント利益又は損失(△)	△2,442	24,776	16,003	△1,216	37,121	△10,352	△125,696	△98,927

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業と不動産管理事業であります。

2. セグメント利益の調整額△125,696千円には、セグメント間取引消去3,119千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△128,816千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。